

覚えておきたい言葉

名前

「詩」に関する言葉

用語	意味	例
連	文章でいう段落のような内容のまとまりをいう。連と連の間は一行空いている。	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">連</div> <div style="text-align: center;">一行空き</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">連</div> </div>
倒置法 (とうちほう)	文章の中の言葉の順番を入れかえて強める方法。	ぼくは走った、だれよりも早く。
反復法	同じ言葉や表現をくり返し使うことで、リズムを整えたり強めたりする方法。	降った降った雨が降った。 降った降った雪が降った。
対句法	関係があり、組み立て方が同じまたは似ている言葉や文などを並べてリズムを整え、変化をつける方法。	ぼくが 笑うと お花も 笑う。 ぼくが おこると お花も おこる。
比喩法 (ひゆほう)	あるものを他のものにたとえて表現する方法。	まるでヒョウウのように走る。
擬人法 (ぎじんほう)	人間ではないものを人間のように見て、たとえる方法。比喩法の仲間。	太陽は、にこにこ笑って、ぼくに話しかけた。
体言止め	行の終わりを名詞で止めて印象（感じ方）を強める方法。	いつもしかられてばかりのぼく。
省略法	言葉を省略し、余韻（よいん）をもたせる方法。	お母さんは、泣いた。 ぼくも、…。

読み取りに関係のある言葉

形式段落…文のまとめり。一字落ちている。

意味段落…形式段落を、書かれている内容でいくつかのまとめりに分けた段落の集まり。(物語の場面や説明文の問いかけ、説明、まとめなど。)

あらすじ…物語の大体の内容。5 W 1 H (だれが、何を、いつ、どこで、どうした、どのように)

要点…段落の中で、筆者が述べようとしていることの主な内容。

要約…文章全体のあらましをまとめること。物語のあらすじに当たる。

要旨…筆者が文章全体で述べている考えの中心。

接続語…文をつなぐ言葉。つなぎ言葉。

指示語…これ、それ、あれ、どれなどのように、文章のどこかの言葉を指している言葉。こそあど言葉。

序論…説明文で、話題や問いかけを示している文章のまとめり。

本論…説明文で、話題や問いかけについて説明している文章のまとめり。

結論…説明文で、全体をまとめている文章のまとめり。

クライマックス…物語の山場。中心人物の心情が大きく変わるところ。

文末表現…文章の最後の部分。くだろうか。くにちがない。くだ。など。